

緩やかに持ち直している

(前回:持ち直している)

生産は緩やかに持ち直している。輸出は13か月連続の増加。個人消費は持ち直している。
雇用は改善しているものの、一部に厳しさがみられる。

■ 11月生産:緩やかに持ち直している

(10月:持ち直している)

- 鉱工業生産指数 100.9
前月比 ▲5.4% (2か月連続)
前年同月比 +0.3% (5か月連続)
- 全13業種中、上昇は3業種
鉄鋼・非鉄金属工業 等
- 低下は10業種
汎用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業 等

(出所:九州経済産業局)

■ 11月輸出:増加(13か月連続)

(10月:増加)

- 輸出額 8,026億円
前年同月比 +27.1% (13か月連続)
- 主要品目
自動車 2,069億円 +101.8% (5か月連続)
電子部品 1,295億円 +32.8% (10か月連続)
鉄鋼のフラットロール製品
685億円 +8.4% (3か月連続)
- 国別
中国 1,704億円 +14.1% (6か月連続)
韓国 1,202億円 +12.8% (28か月連続)
米国 1,065億円 +73.9% (6か月連続)

(出所:門司税関)

■ 11月個人消費:持ち直している

(10月:持ち直している)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)
1,383億円 前年同月比 +3.6% (14か月連続)
- コンビニ 1,016億円 +6.0% (12か月連続)
- 家電大型専門店 252億円 ▲3.6% (2か月ぶり)
- ドラッグストア 587億円 +8.1% (6か月連続)
- ホームセンター 278億円 ▲1.3% (2か月ぶり)
- 新車登録台数 32,346台 +7.1% (3か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 11月雇用:改善しているものの、一部に厳しさがみられる

(10月:緩やかに改善しているものの、一部に厳しさがみられる)

- 有効求人倍率 1.31倍
前月比▲0.01ポイント(8か月ぶり)
- 新規求人倍率 2.20倍
前月比▲0.04ポイント(2か月連続)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売業・小売業、製造業、建設業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:改善

- 12月の業況DI (%ポイント)
全産業 +15 変化幅+7
製造業 +6 変化幅+1
非製造業 +19 変化幅+9
- 先行き(3月)
全産業 +8 変化幅▲7
製造業 +7 変化幅+1
非製造業 +10 変化幅▲9

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 設備投資:増加

- 21年度
全産業 +13.9%
製造業 +18.8%
非製造業 +5.0%
- 22年度(計画)
全産業 +13.0%
製造業 +17.4%
非製造業 +4.0%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 11月住宅建設:減少(3か月連続)

- 新設着工戸数 7,699戸
前年同月比 ▲4.4%
(3か月連続)
- 持家 2,270戸
▲17.7% (6か月連続)
- 貸家 3,309戸
+13.4% (7か月連続)
- 分譲 2,062戸
▲11.6% (3か月連続)

(出所:国土交通省)

■ 11月公共投資:減少(2か月連続)

- 工事請負金額 902億円
前年同月比 ▲6.8% (2か月連続)
- 発注者別前年同月比
国 +7.7%
独立行政法人等 ▲70.9%
県 ▲5.1%
市町村 ▲9.7%

(出所:西日本建設業保証株)

■ 11月倒産:増加(3か月連続)

- 倒産件数 46件
前年同月比 +24.3%
- 負債総額 128.5億円
+158.0% (2か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 4件 (+300.0%)
卸・小売業 10件 (▲28.6%)
建設業 8件 (±0.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

九経マンスリー (2022年11月)

2023年1月17日
九州経済産業局

今月の管内経済動向: 九州地域の経済は、緩やかに持ち直している
生産は緩やかに持ち直している。輸出は13か月連続の増加。個人消費は持ち直している。
雇用は改善しているものの、一部に厳しさがみられる。

概 況	九州の主要経済指標(2022年11月)		
1. 生産動向 11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、100.9となり、前月比が▲5.4%と2か月連続の低下となった。前年同月比は+0.3%と5か月連続の上昇となった。	■生産動向【九州経済産業局】	前月比	前年同月比
	生産指数	100.9 ▲5.4	0.3
	(参考)出荷指数	95.8 ▲3.7	3.6
	在庫指数	102.5 0.7	6.1
2. 設備投資動向 2022年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+17.4%、非製造業は同+4.0%、全産業は同+13.0%と前年度を上回る見込み。	■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2021年度実績 2022年度計画)	2021年度	2022年度
	全産業	139	130
	製造業	188	174
	非製造業	5.0	4.0
3. 貿易動向 11月の輸出額は、前年同月比+27.1%と13か月連続の増加。輸入額は同+44.6%と22か月連続の増加となった。	■貿易動向【財務省】		
	輸出通関額	8,026億円	27.1
	輸入通関額	9,147億円	44.6
4. 消費動向	■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】		
●百貨店・スーパー販売額 11月の百貨店・スーパー販売額は1,383億円で前年同月比+3.6%と14か月連続の増加となった。百貨店は428億円で同+2.7%と9か月連続の増加、スーパーは955億円で同+4.0%と11か月連続の増加となった。	合計	138,257百万円	3.6
	百貨店	42,786百万円	2.7
	スーパー	95,472百万円	4.0
●コンビニエンスストア販売額 11月のコンビニエンスストア販売額は、1,016億円で、前年同月比+6.0%の増加となった。店舗数は5,548店となった。	■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】		
	販売額	101,578百万円	6.0
	店舗数	5,548店	▲0.1
●家電販売額 11月の家電販売額は252億円で、前年同月比▲3.6%の減少となった。	■家電販売額【九州経済産業局】		
	販売額	25,172百万円	▲3.6
●乗用車新車登録・届出台数 11月の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車が前年を下回ったものの、小型乗用車、軽自動車の前年を上回り、乗用車全体で前年同月比+7.1%と3か月連続の増加となった。	■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】		
	乗用車計	32,346台	7.1
	普通乗用車	10,560台	▲0.3
	小型乗用車	7,751台	0.4
	軽自動車	14,035台	18.1
●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。 10月の消費支出(二人以上の世帯)は274,167円で、前年同月比+2.6%と4か月連続の増加となった。実収入(勤労者世帯)は、同▲1.1%と9か月連続の減少となった。	■家計調査【総務省】(2022年10月)		
	消費支出	274,167円	(実質) 2.6
	(二人以上の世帯)		
	実収入	515,341円	(実質) ▲1.1
	(勤労者世帯)		
	平均消費性向(季調値、全国)	66.4%	1.1
●賃金(現金給与総額) 9月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+1.1%と22か月連続の増加、製造業は同+2.7%と7か月連続の増加となった。	■賃金【各県】(2022年9月)		
	全産業	242,695円	1.1
	製造業	275,976円	2.7
5. 住宅建設動向 11月の新設住宅着工戸数は、貸家が増加したものの、持家、分譲が減少し、全体で前年同月比▲4.4%と3か月連続の減少となった。	■住宅建設動向【国土交通省】		
	住宅着工計	7,699戸	▲4.4
	持家	2,270戸	▲17.7
	貸家	3,309戸	13.4
	分譲住宅	2,062戸	▲11.6
6. 物価動向 11月の消費者物価指数(九州)は、103.4で前年同月比+3.5%と13か月連続の上昇(前月比+0.2%)となった。国内企業物価指数は、118.5で前年同月比+9.3%と21か月連続の上昇(前月比+0.6%)となった。	■物価動向【日本銀行・総務省】		
	消費者物価指数(九州)	103.4 0.2	3.5
	企業物価指数(全国)	118.5 0.6	9.3
7. 雇用動向 11月の有効求人倍率は、前月比▲0.01ポイントの1.31倍、新規求人倍率は、同▲0.04ポイントの2.20倍となった。	■雇用動向【九州各労働局】		
	有効求人倍率(季調値)	1.31倍	▲0.01 0.11
	新規求人倍率(季調値)	2.20倍	▲0.04 0.18
8. 公共投資動向 11月の公共工事請負金額は、前年と比較し、国が増加したものの、県、市町村、独立行政法人等が減少し、全体で前年同月比▲6.8%と2か月連続の減少となった。	■公共投資動向[工事請負]【西日本建設業保証㈱】		
	請負金額	90,226百万円	▲6.8
9. 企業倒産動向 11月の倒産件数は前年同月比+24.3%と3か月連続の増加、負債総額は同+158.0%と2か月ぶりの増加となった。	■企業倒産動向【㈱東京商工リサーチ福岡支社】		
	倒産件数	46件	24.3
	負債総額	12,852百万円	158.0

(注) ・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。 ・「4.消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2023年1月17日
九州経済産業局

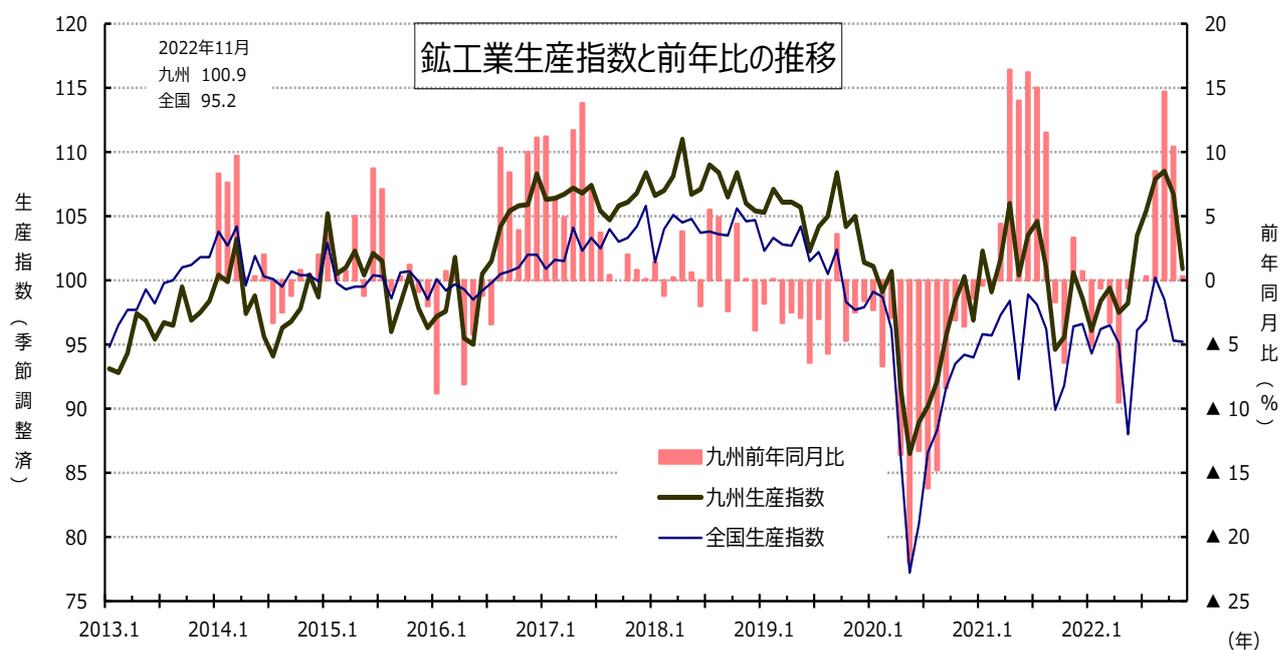
1. 生産動向

(1) 全体

2022年11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は100.9となり、前月比が▲5.4%と2か月連続の低下、前年同月比は+0.3%と5か月連続の上昇となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
		前月比 %		前年同月比 %		前月比 %		前年同月比 %
生産	100.9	▲ 5.4	107.1	0.3	95.2	▲ 0.1	98.6	▲ 1.3
出荷	95.8	▲ 3.7	103.6	3.6	93.0	▲ 0.5	96.2	▲ 0.9
在庫	102.5	0.7	102.3	6.1	103.6	0.3	104.4	3.8
在庫率	108.4	▲ 8.4	113.1	7.0	123.0	3.3	121.5	6.9

▲印は低下を示す。(2015年=100)

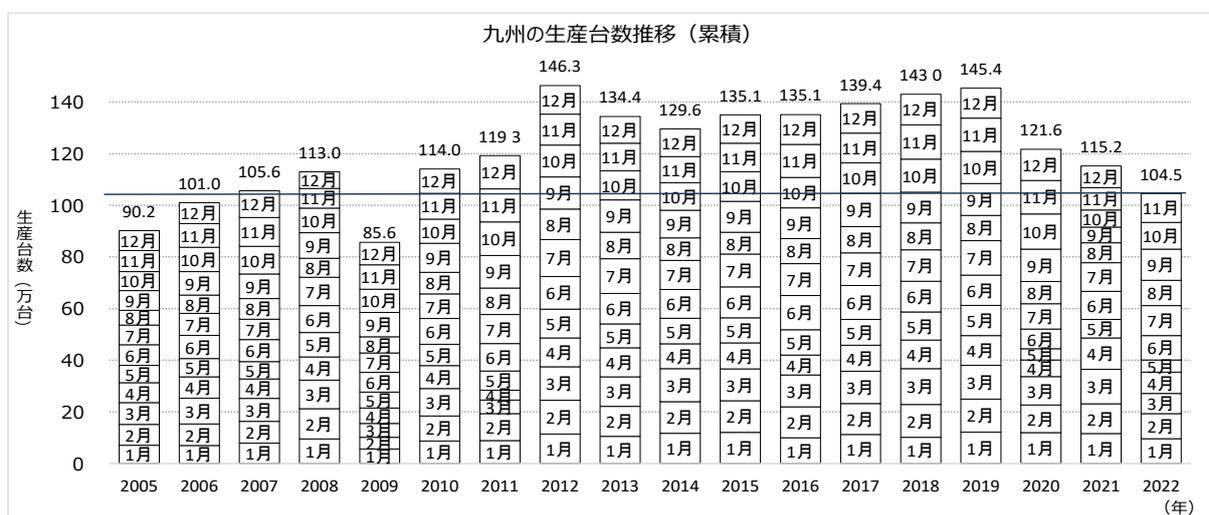


【生産】 前月比 ▲5.4 % 2か月連続低下 (全13業種中 上昇3業種、低下10業種、横ばい0業種)

主な上昇・低下業種/ウェイト			前年	前月比		主な上昇・低下品目
			同月比	前月	今月	
上昇	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	1.5	8.6	2.8	鉄素製品 (含.鋼半製品)、鑄鍛造品 等
低下	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	8.7	▲17.6	▲19.5	半導体製造装置、金型 等
	電子部品・デバイス工業	1,359.4	▲0.3	9.9	▲7.8	半導体集積回路 (CCD・その他)、トランジスタ 等
	窯業・土石製品工業	439.4	▲17.5	▲7.4	▲8.4	ファインセラミックス (機能材)、ファインセラミックス (一般構造材) 等
	パルプ・紙・紙加工品工業	190.1	▲8.0	3.5	▲10.2	製紙パルプ、情報用紙 等

(2) 四輪自動車生産動向

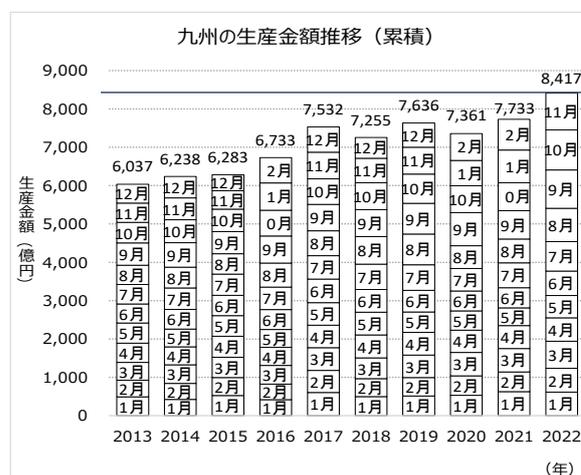
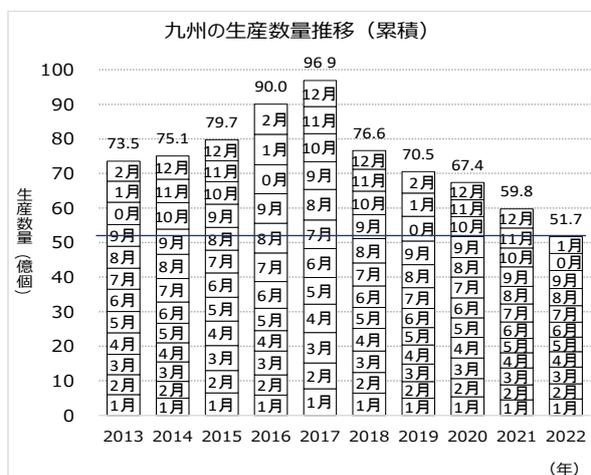
生産台数は111,602台と、前月比+7.4%、前年同月比+29.2%となった。



(3) IC生産動向

生産は、数量で4億8,536万個と、前月比▲2.4%、前年同月比▲15.7%となった。

金額で960億2,200万円と、前月比▲8.4%、前年同月比+12.5%となった。



2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	21年度		22年度	
		修正率	(計画)	修正率
製造業	18.8	-	17.4	▲ 0.9
非製造業 (除 電気・ガス)	5.0	-	4.0	0.6
全産業 (除 電気・ガス)	13.9	-	13.0	▲ 0.4
(参考)全国全産業	▲ 0.8	-	15.1	▲ 1.1

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」12月

3. 貿易動向

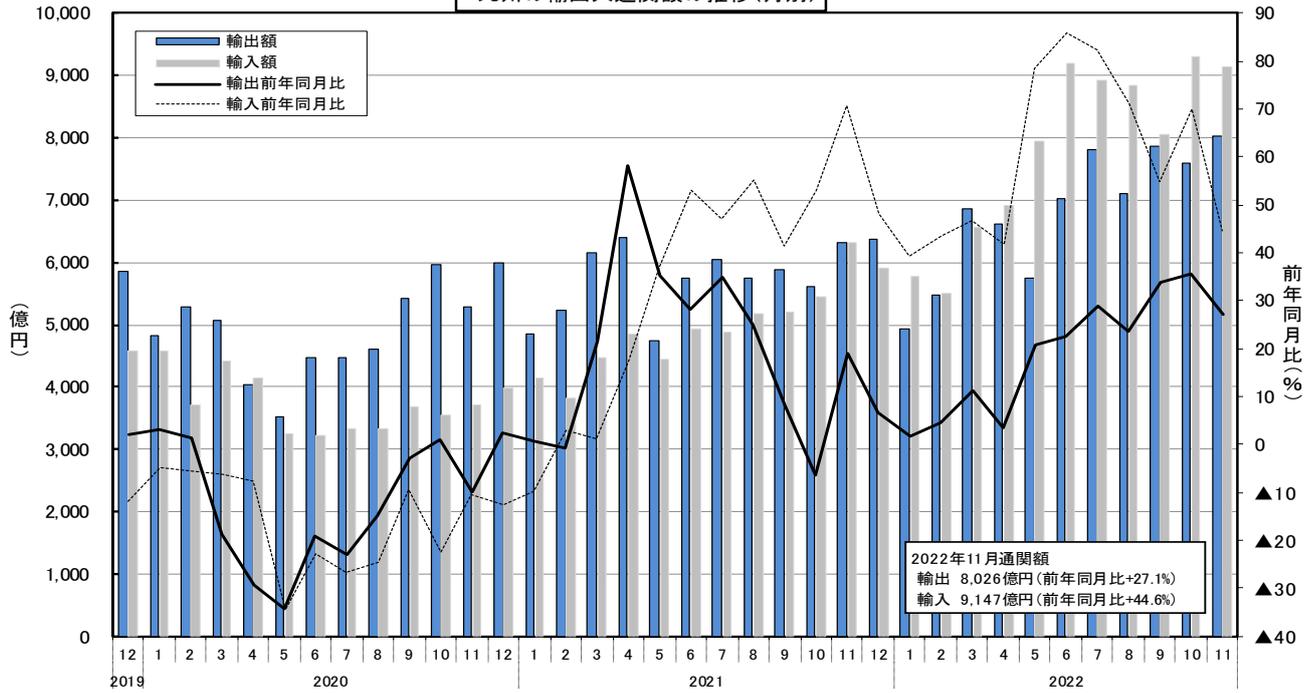
11月		金額	前年同月比		全国シェア
輸出	九州	8,026億円	+ 27.1%	13か月連続の増加	9.1%
	全国	8兆8,371億円	+ 20.0%	21か月連続の増加	-
輸入	九州	9,147億円	+ 44.6%	22か月連続の増加	8.4%
	全国	10兆8,661億円	+ 30.3%	22か月連続の増加	-
貿易収支	九州	▲1,122億円	-	8か月連続の貿易赤字	-
	全国	▲2兆0,290億円	-	16か月連続の貿易赤字	-

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

		2020年	2021年	2021年	2022年	2022年							
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月		
輸出通関額(円)	九州	▲ 12.2	17.2	6.0	6.2	14.8	28.9	23.5	33.9	35.7	R	27.1	
	前年比:%	▲ 11.1	21.5	15.7	14.5	15.9	23.2	22.0	28.9	25.3	R	20.0	
輸入通関額(円)	九州	▲ 15.8	32.8	57.2	43.3	68.6	69.2	71.0	55.0	R	70.2	P	44.6
	前年比:%	▲ 13.5	24.8	37.6	34.6	40.8	47.6	49.8	45.8	R	53.7	P	30.3
対アジア	輸出	▲ 4.1	16.5	14.6	9.1	13.5	31.2	26.0	40.5	26.8	R	7.5	
	前年比:%	▲ 10.5	21.0	17.0	23.0	26.1	41.3	47.5	36.8	R	50.3	P	49.2
為替レート(¥/\$) (期中平均)		106.78	109.80	113.70	116.18	129.56	138.34	135.24	143.14	147.01		142.44	
原油輸入価格 (CIFベース\$/B)		47.14	69.45	80.63	86.10	110.82	113.07	112.46	110.86	R	106.03	P	100.38

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州の輸出入通関額の推移(月別)



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	自動車	2,069	+101.8%	5か月連続	+16.5%	中国(+29.4%)、アメリカ(+204.9%)、中東(+563.6%)、EU(+5988.7%)、台湾(+57.9%)、韓国(+19.1%)、ASEAN(+272.7%)、香港(+25.9%)等が増加。
増加	半導体等電子部品	1,295	+32.8%	10か月連続	+5.1%	韓国(+92.3%)、香港(+56.0%)、中国(+109.7%)、台湾(+50.5%)、EU(+60.7%)等が増加。ASEAN(▲25.8%)、アメリカ(▲56.9%)、中東(▲100.0%)等が減少。
増加	船舶類	364	+88.6%	2か月連続	+2.7%	ASEAN(▲86.7%)、韓国(▲9.6%)等が減少。
増加	ゴムタイヤ及びチューブ	328	+36.0%	21か月連続	+1.4%	アメリカ(+37.1%)、ASEAN(+171.1%)、中東(+29.0%)、中国(+25.7%)、韓国(+23.0%)、台湾(+126.6%)、香港(+39.2%)等が増加。EU(▲1.4%)等が減少。
増加	鉄鋼のフラットロール製品	685	+8.4%	3か月連続	+0.8%	EU(+443.6%)、中東(+133.4%)、台湾(+28.6%)等が増加。ASEAN(▲6.7%)、韓国(▲11.5%)、中国(▲19.8%)、アメリカ(▲18.3%)、香港(▲53.1%)等が減少。
増加	半導体等製造装置	245	+27.2%	7か月連続	+0.8%	韓国(+59.5%)、台湾(+281.7%)、ASEAN(+60.6%)、EU(+3366.0%)等が増加。中国(▲56.3%)、アメリカ(▲32.7%)、中東(▲90.8%)等が減少。
増加	有機化合物	220	+7.8%	3か月ぶり	+0.3%	中国(+13.6%)、韓国(+24.2%)、EU(+48.6%)、中東(+16.3%)等が増加。ASEAN(▲2.8%)、台湾(▲50.9%)、アメリカ(▲21.5%)、香港(▲100.0%)等が減少。

出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	原油及び粗油	2,148	+60.6%	19か月連続	+12.8%	2,352千KL	+2.9%	3か月連続
増加	液化天然ガス	642	+282.8%	10か月連続	+7.5%	4,015百MT	+44.7%	2か月ぶり

出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要品目の動き ※()内は前年同月比
増加	アメリカ合衆国	1,065	+ 73.9%	6か月連続	+7.2%	自動車(+204.9%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+37.1%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲18.3%)、半導体等製造装置(▲32.7%)、有機化合物(▲21.5%)、半導体等電子部品(▲56.9%)等が減少。
増加	EU	704	+120.7%	3か月連続	+6.1%	鉄鋼のフラットロール製品(+443.6%)、自動車(+598.7%)、有機化合物(+48.6%)、半導体等電子部品(+60.7%)、半導体等製造装置(+336.0%)等が増加。ゴムタイヤ及びチューブ(▲1.4%)等が減少。
増加	中華人民共和国	1,704	+ 14.1%	6か月連続	+3.3%	自動車(+29.4%)、半導体等電子部品(+109.7%)、有機化合物(+13.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+25.7%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲19.8%)、半導体等製造装置(▲56.3%)等が減少。
増加	中東	238	+197.5%	12か月連続	+2.5%	自動車(+563.6%)、鉄鋼のフラットロール製品(+133.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+29.0%)、有機化合物(+16.3%)等が増加。半導体等製造装置(▲90.8%)、半導体等電子部品(▲100.0%)等が減少。
増加	大韓民国	1,202	+ 12.8%	28か月連続	+2.2%	半導体等電子部品(+92.3%)、半導体等製造装置(+59.5%)、自動車(+19.1%)、有機化合物(+24.2%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+23.0%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲11.5%)、船舶類(▲9.6%)等が減少。
増加	香港	357	+ 47.3%	7か月連続	+1.8%	半導体等電子部品(+56.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+39.2%)、自動車(+25.9%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲53.1%)、有機化合物(▲100.0%)等が減少。
増加	台湾	504	+ 20.2%	3か月連続	+1.3%	半導体等製造装置(+281.7%)、自動車(+57.9%)、半導体等電子部品(+50.5%)、鉄鋼のフラットロール製品(+28.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+126.6%)等が増加。有機化合物(▲50.9%)等が減少。
減少	ASEAN	1,086	▲ 15.6%	10か月ぶり	▲3.2%	ゴムタイヤ及びチューブ(+171.1%)、自動車(+272.7%)、半導体等製造装置(+60.6%)等が増加。半導体等電子部品(▲25.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲6.7%)、有機化合物(▲2.8%)、船舶類(▲86.7%)等が減少。

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	中東	2,213	+ 72.4%	19か月連続	+14.7%
増加	オーストラリア	1,663	+119.7%	20か月連続	+14.3%
増加	ASEAN	1,292	+ 81.2%	9か月連続	+9.1%
増加	中華人民共和国	1,253	+ 24.2%	7か月連続	+3.9%
増加	大韓民国	294	+ 43.3%	5か月連続	+1.4%
増加	アメリカ合衆国	357	+ 31.7%	12か月連続	+1.4%
増加	ペルー	80	+711.6%	5か月ぶり	+1.1%
減少	EU	160	▲ 71.2%	3か月ぶり	▲6.2%
減少	ロシア	77	▲ 72.0%	5か月ぶり	▲3.1%
減少	ナイジェリア	2	▲ 52.6%	2か月ぶり	▲0.0%

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

4. 消費動向

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	販売額	合 計		百貨店		スーパー			
		前年同月比 全店	(既存店)	前年同月比 全店	(既存店)	前年同月比 全店	(既存店)		
全 国	1,759,369	3.0	(2.4)	517,729	4.1	(4.3)	1,241,640	2.6	(1.6)
九州計	138,257	3.6	(2.9)	42,786	2.7	(2.7)	95,472	4.0	(3.0)
衣料品	28,516	▲ 1.5	(▲ 1.4)	18,320	1.3	(1.3)	10,196	▲ 6.2	(▲ 5.8)
飲食料品	72,879	5.2	(4.3)	12,535	▲ 0.4	(▲ 0.4)	60,343	6.4	(5.3)
その他	36,862	4.6	(3.7)	11,930	8.5	(8.5)	24,932	2.8	(1.5)

【注】 九州計の数値は沖縄を含む。

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	合計	2.7	高額品が引き続き好調だったことに加え、インバウンド需要の復調などから、9か月連続の増加となった。	2.7	2.7
	衣料品計	0.5	気温高の影響により冬物衣料の動きが鈍かったものの、靴等の身の回り品が好調だったことなどから、9か月連続の増加となった。	1.3	1.3
	飲食料品	▲ 0.1	惣菜や菓子に動きがみられたものの、前年好調だった反動などから、4か月ぶりの減少となった。	▲ 0.4	▲ 0.4
	その他計	2.2	高額品が好調だったことや化粧品に動きがみられたことなどから、14か月連続の増加となった。	8.5	8.5
スーパー	合計	4.0	飲食料品の動きが良かったことなどから、11か月連続の増加となった。	4.0	3.0
	衣料品計	▲ 0.7	旅行需要を受け、靴等の身の回り品は好調だったものの、気温高の影響などにより衣料品全般で動きが鈍かったことなどから、8か月ぶりの減少となった。	▲ 6.2	▲ 5.8
	飲食料品	4.0	簡便食材の動きが良かったことに加え、価格上昇の影響などから、15か月連続で増加となった。	6.4	5.3
	その他計	0.8	化粧品等に動きがみられたことなどから、11か月連続で増加となった。	2.8	1.5

(2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

	九 州				全 国			
	販売額	前年同月比	店舗数	前年同月比	販売額	前年同月比	店舗数	前年同月比
コンビニエンスストア	101,578	6.0	5,548	▲ 0.1	1,032,437	7.9	56,231	▲ 0.2
全国比	9.8	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	25,172	▲ 3.6	323	1.3	358,877	0.3	2,672	1.8
全国比	7.0	—	12.1	—	—	—	—	—
ドラッグストア	58,665	8.1	1,500	3.7	637,668	7.9	18,363	4.6
全国比	9.2	—	8.2	—	—	—	—	—
ホームセンター	27,816	▲ 1.3	554	0.9	267,280	▲ 1.3	4,430	1.3
全国比	10.4	—	12.5	—	—	—	—	—

(3) 乗用車新車登録・届出台数動向

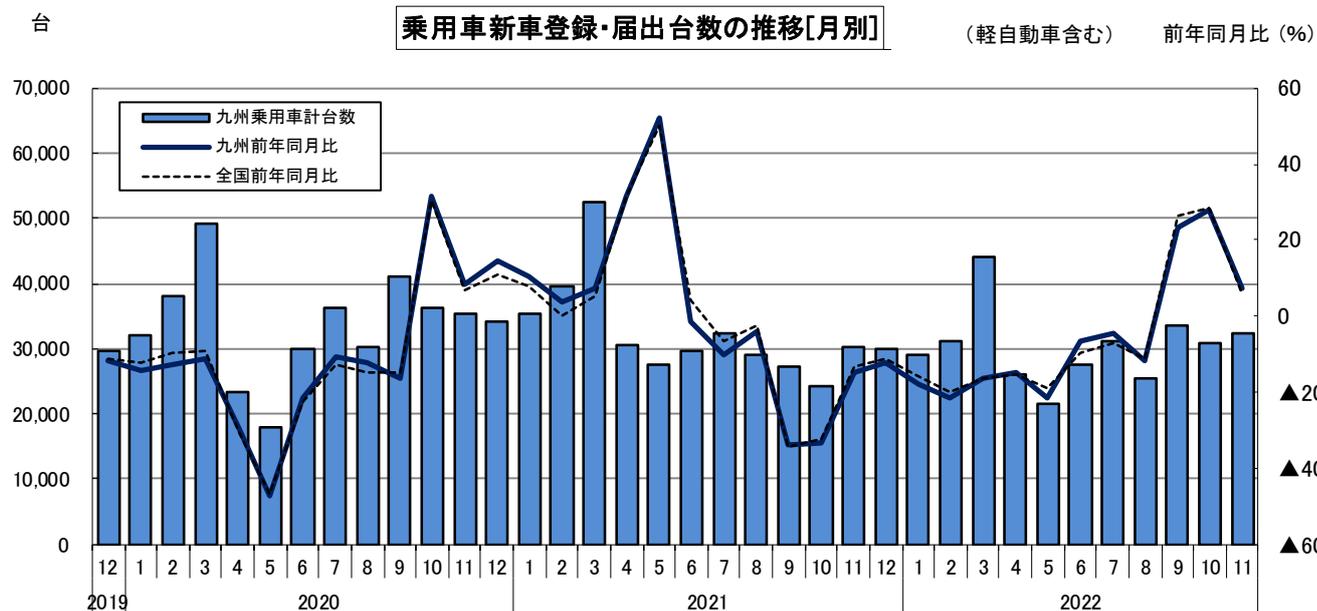
11月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	32,346台	+ 7.1%	3か月連続	307,616台	+ 5.7%	3か月連続
普通	10,560台	▲ 0.3%	3か月ぶり	114,391台	+ 2.4%	3か月連続
小型	7,751台	+ 0.4%	3か月連続	78,070台	+ 2.2%	3か月連続
軽	14,035台	+ 18.1%	3か月連続	115,155台	+ 11.9%	3か月連続

出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

前年同月比(%)

		2020年	2021年	2021年	2022年		2022年				
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
九州	全体	▲ 11.4	▲ 3.9	▲ 20.4	▲ 18.3	▲ 14.1	1.7	▲ 11.8	23.6	27.8	7.1
	普通乗用車	▲ 13.0	6.2	▲ 20.7	▲ 15.7	▲ 16.7	1.2	▲ 9.3	21.0	26.8	▲ 0.3
	小型乗用車	▲ 9.9	▲ 15.4	▲ 16.9	▲ 10.8	▲ 13.4	▲ 0.9	▲ 13.9	32.7	27.1	0.4
	軽自動車	▲ 11.1	▲ 3.9	▲ 22.3	▲ 24.5	▲ 12.6	3.9	▲ 12.6	21.2	29.1	18.1
全国	全体	▲ 11.5	▲ 3.5	▲ 19.1	▲ 17.4	▲ 14.5	2.1	▲ 11.2	26.6	28.5	5.7
	普通乗用車	▲ 13.6	5.6	▲ 19.5	▲ 16.5	▲ 16.1	3.3	▲ 6.5	23.3	21.6	2.4
	小型乗用車	▲ 10.4	▲ 14.1	▲ 17.1	▲ 12.1	▲ 15.9	▲ 7.3	▲ 20.2	27.7	27.2	2.2
	軽自動車	▲ 10.0	▲ 4.2	▲ 20.3	▲ 21.9	▲ 11.7	8.3	▲ 9.4	29.9	37.2	11.9

出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会



出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

10月	名 目		実質/前年同月比	
消費支出	九州	27万4,167円	+ 2.6%	4か月連続
	全国	29万8,006円	+ 1.2%	5か月連続

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

10月	名 目		実質/前年同月比	
実収入	九州	51万5,341円	▲ 1.1%	9か月連続
	全国	56万8,282円	▲ 0.9%	2か月ぶり

出所:総務省「家計調査報告」

(5) 賃 金 (現金給与総額)

9月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	24万2,695円	+ 1.1%	22か月連続	9.3時間	+ 7.6%	18か月連続
製造業	27万5,976円	+ 2.7%	7か月連続	14.8時間	+ 7.5%	19か月連続

出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

5人以上規模・全国製造業入り

前年同月比(%)

毎月勤労統計		2020年	2021年	2021年	2022年			2022年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	7月	8月	9月	10月
九州	全産業	0.1	1.4	1.1	0.9	2.2	1.2	0.9	1.6	1.1	-
	製造業	▲ 2.4	3.5	1.9	3.5	6.0	3.5	4.7	1.6	2.7	-
全国	全産業	▲ 1.2	0.3	0.0	1.5	1.5	1.7	1.3	1.7	2.2	1.4
	製造業	▲ 3.4	2.0	1.8	0.4	1.1	2.1	3.9	0.1	0.7	1.1

出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

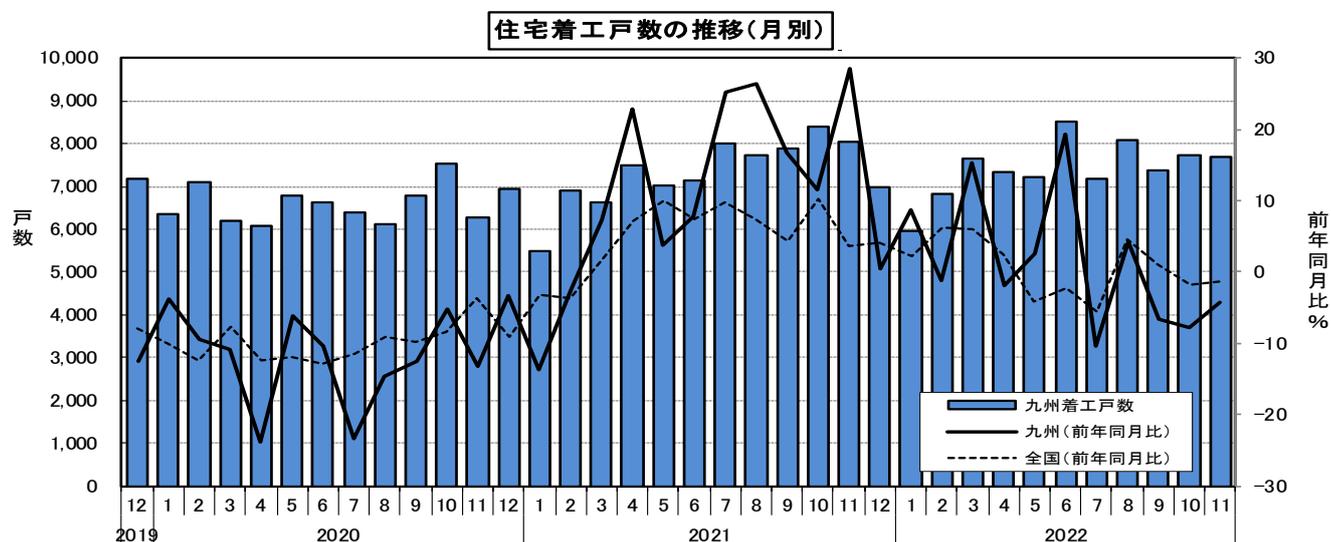
5. 住宅建設動向

11月 九州	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	7,699戸	▲ 4.4%	3か月連続
持家	2,270戸	▲ 17.7%	6か月連続
貸家	3,309戸	+ 13.4%	7か月連続
分譲	2,062戸	▲ 11.6%	3か月連続
全国	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	72,372戸	▲ 1.4%	2か月連続
持家	21,511戸	▲ 15.1%	12か月連続
貸家	29,873戸	+ 11.4%	21か月連続
分譲	20,642戸	▲ 0.8%	4か月ぶり

出所:国土交通省「建築着工統計調査」

項目		2020年	2021年	2021年	2022年			2022年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
新設住宅着工戸数	九州	▲ 11.6	10.9	12.9	7.4	6.6	▲ 4.3	4.3	▲ 6.5	▲ 7.9	▲ 4.4
	全国	▲ 9.9	5.0	6.1	4.9	▲ 1.3	▲ 0.0	4.6	1.0	▲ 1.8	▲ 1.4
前年比:%	持家	九州 ▲ 12.6	9.8	8.9	▲ 10.2	▲ 6.3	▲ 16.9	▲ 12.2	▲ 15.7	▲ 18.4	▲ 17.7
	全国 ▲ 9.6	9.4	7.2	▲ 6.9	▲ 8.9	▲ 12.9	▲ 11.2	▲ 13.3	▲ 18.7	▲ 15.1	
貸家	九州	▲ 9.5	3.8	5.9	22.6	8.1	8.2	3.6	13.4	7.6	13.4
	全国	▲ 10.4	4.8	6.4	13.5	2.5	6.1	8.9	8.1	7.3	11.4
分譲住宅	九州	▲ 13.2	27.1	34.2	9.3	23.8	▲ 9.2	25.4	▲ 25.5	▲ 19.4	▲ 11.6
	全国	▲ 10.2	1.5	6.4	7.6	2.7	7.1	16.2	10.1	4.8	▲ 0.8

出所:国土交通省「建築着工統計調査」



6. 物価動向

11月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	103.4	+ 0.2%	11か月連続	+ 3.5%	13か月連続
11月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	103.9	+ 0.2%	5か月連続	+ 3.8%	15か月連続

11月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	118.5	+ 0.6%	11か月連続	+ 9.3%	21か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	130.8	▲ 1.9%	3か月ぶり	+ 15.1%	21か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	178.9	▲ 5.1%	2か月連続	+ 28.2%	21か月連続

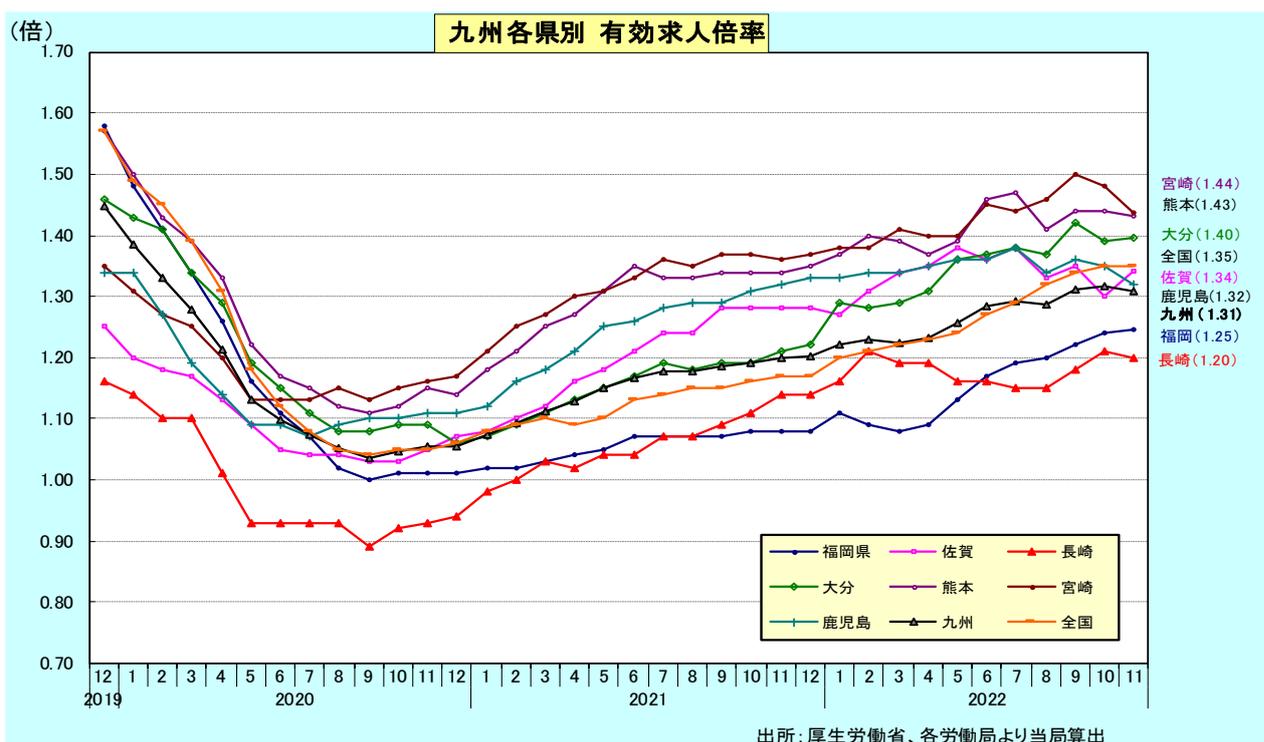
出所：総務省「消費者物価指数」(2020年基準)、日本銀行「企業物価指数」(2020年基準)

7. 雇用動向

項目		2020年	2021年	2021年	2022年			2022年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
有効求人倍率	九州	1.14	1.15	1.20	1.22	1.26	1.30	1.29	1.31	1.32	1.31
	全国	1.18	1.13	1.17	1.21	1.25	1.32	1.32	1.34	1.35	1.35
新規求人倍率	九州	1.83	1.96	2.04	2.05	2.12	2.22	2.18	2.27	2.24	2.20
	全国	1.95	2.02	2.10	2.18	2.23	2.33	2.32	2.27	2.33	2.42

(注1) 月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

出所：厚生労働省、各労働局資料より九州経済産業局作成

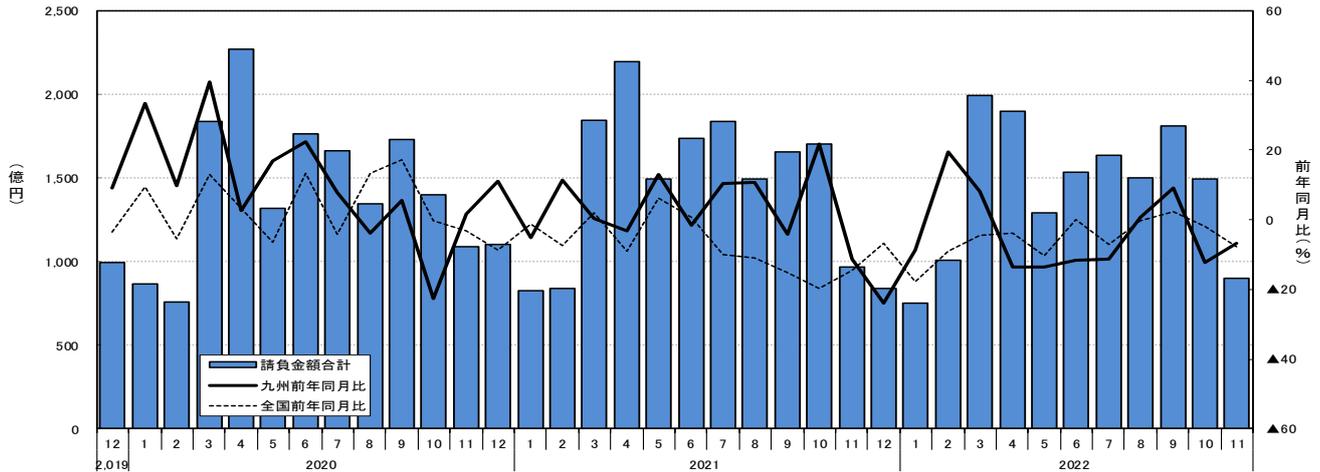


8. 公共投資動向

11月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人等	県	市町村	その他
九州	902億円	▲ 6.8%	2か月連続	+ 7.7%	▲ 70.9%	▲ 5.1%	▲ 9.7%	+ 21.8%
全国	6,961億円	▲ 7.6%	2か月連続	▲ 16.6%	▲ 21.2%	▲ 9.8%	+ 1.8%	▲ 15.7%

出所：西日本建設業保証(株)

公共工事保証実績の推移(月別)



出所：西日本建設業保証(株)

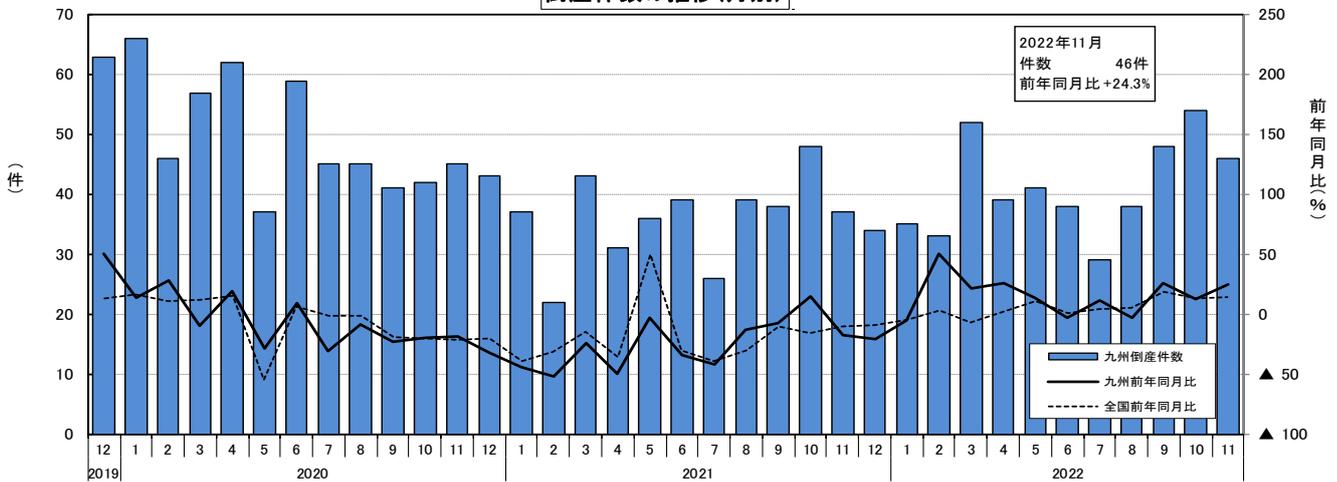
9. 企業倒産動向

11月		前年同月比	
倒産件数	九州	46件	+ 24.3% 3か月連続
	全国	581件	+ 13.9% 8か月連続
負債総額	九州	128.5億円	+158.0% 2か月ぶり
	全国	1,155.9億円	+ 22.8% 2か月ぶり

11月	業種別	前年同月比	
倒産件数	製造	4件	+300.0% 4か月連続
	卸・小売	10件	▲ 28.6% 3か月ぶり
	建設	8件	0.0% 横ばい
	その他	24件	+ 71.4% 4か月ぶり

出所：(株)東京商工リサーチ

倒産件数の推移(月別)



出所：(株)東京商工リサーチ

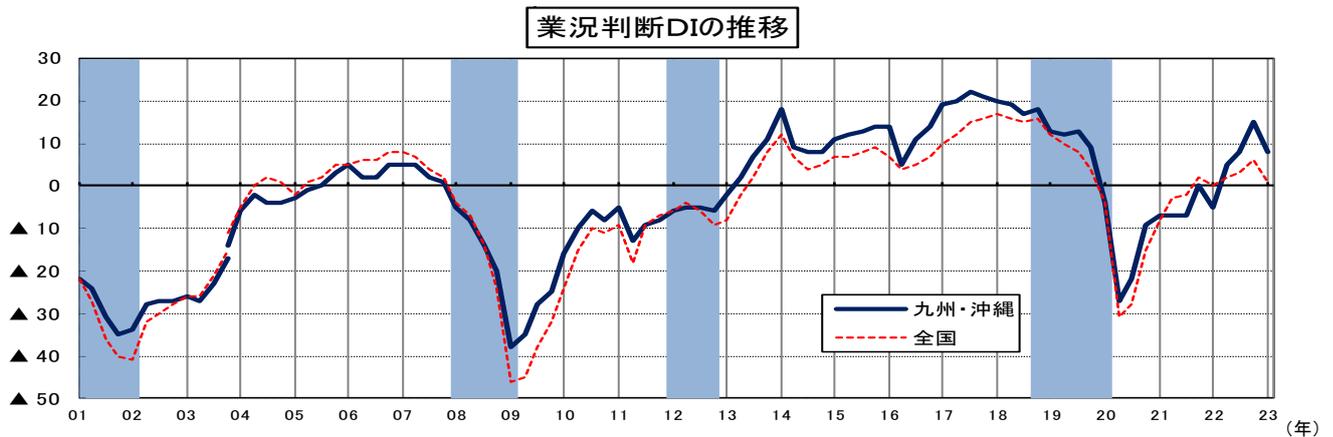
(参考)業況判断

(1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

日銀短観(12月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業は+6(前回調査比+1ポイント)、非製造業は+19(同+9ポイント)、全産業で+15(同+7ポイント)となった。次回予測(23年3月)の数値は、製造業は+7(12月比+1ポイント)、非製造業は+10(同▲9ポイント)、全産業で+8(同▲7ポイント)と予測。

業況判断DI		2020年		2021年				2022年				2023年
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
全産業	九州・沖縄	▲22	▲9	▲7	▲7	▲7	0	▲5	5	8	15	8
	全国	▲28	▲15	▲8	▲3	▲2	2	0	2	3	6	1
製造業	九州・沖縄	▲29	▲13	▲4	▲2	▲3	1	▲3	1	5	6	7
	全国	▲37	▲20	▲6	2	5	6	2	1	0	2	▲2
非製造業	九州・沖縄	▲19	▲6	▲8	▲9	▲10	▲1	▲6	7	10	19	10
	全国	▲21	▲11	▲9	▲7	▲7	0	▲2	4	5	10	3

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。



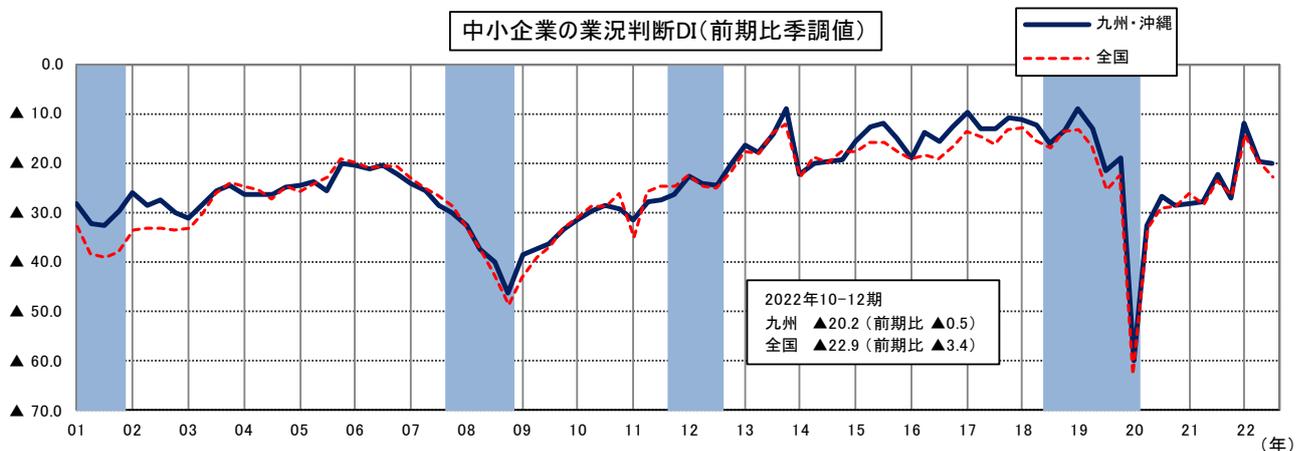
(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」

(2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2022年10-12月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲20.2と前期から▲0.5ポイントの低下となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2020年		2021年					2022年				
		7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月		
全産業	九州・沖縄	▲32.7	▲26.7	▲28.5	▲28.1	▲28.0	▲22.2	▲27.0	▲12.0	▲19.7	▲20.2		
	全国	▲33.3	▲29.1	▲28.7	▲26.2	▲28.4	▲23.5	▲26.6	▲14.4	▲19.5	▲22.9		
製造業	九州・沖縄	▲35.7	▲27.9	▲22.9	▲22.1	▲21.5	▲22.1	▲19.0	▲11.3	▲17.0	▲18.9		
	全国	▲40.3	▲30.1	▲24.8	▲17.1	▲17.9	▲19.5	▲17.6	▲12.7	▲15.2	▲19.2		
非製造業	九州・沖縄	▲33.1	▲25.9	▲29.7	▲29.4	▲31.4	▲21.7	▲28.9	▲12.4	▲20.0	▲20.7		
	全国	▲31.0	▲28.9	▲30.1	▲29.2	▲31.7	▲24.9	▲29.6	▲15.1	▲21.0	▲24.0		



(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 中小企業庁「中小企業景況調査」